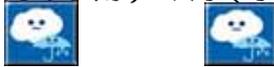


## 最近の景況について

- 1 県内景気の動向（平成22年4月5日公表）  
 景況天気図 前月（小雨） 今月（小雨）

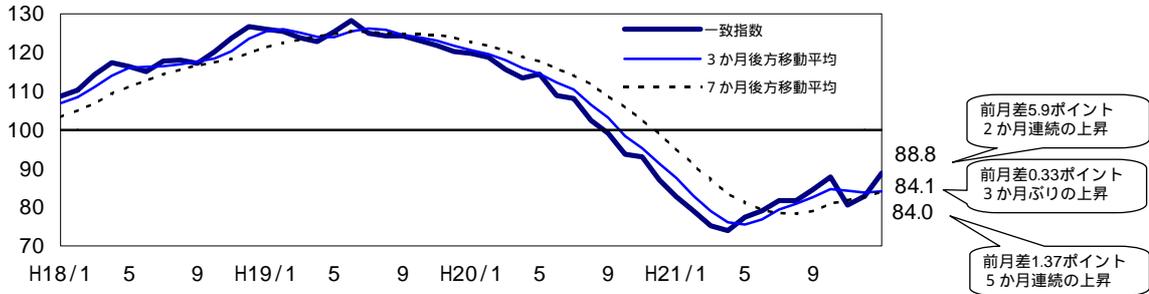


### 概況

乗用車新車登録台数は、7か月連続で前年水準を上回っている。  
 鉱工業生産指数の原指数は、2か月連続で前年水準を上回っており、季節調整済指数は、3か月ぶりに前月水準を上回った。  
 一方、大型小売店販売額は18か月連続、新設住宅着工戸数は13か月連続、公共工事請負金額は3か月連続で、それぞれ前年水準を下回っている。  
 また、有効求人倍率は、2か月連続で上昇したものの、依然として低い水準となっている。

このように、県内景気は、下げ止まりの動きもみられるものの、厳しい状況にある。

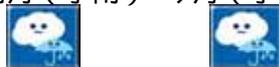
- 2 平成22年1月分の景気動向指数（C I一致指数）（平成22年4月5日公表）  
 指数の推移（平成17年 = 100）



### 基調判断

景気動向指数（C I一致指数）は、「上方への局面変化」を示している。  
 （基調は、月々の値をならした、3か月後方移動平均や7か月後方移動平均を中心に判断している。今月は基調判断の基準に該当するものがないため、前月の「上方への局面変化」を踏襲する。）

- （参考）国内景気の動向（内閣府「月例経済報告」：平成22年3月15日公表）  
 景況天気図 前月（小雨） 今月（小雨）



天気図は本県で判断したものです。

### 我が国経済の基調判断

景気は、着実に持ち直してきているが、なお自律性は弱く、失業率が高水準にあるなど厳しい状況にある。

- ・輸出は、緩やかに増加している。生産は、持ち直している。
- ・企業収益は、改善している。設備投資は、下げ止まりつつある。
- ・企業の業況判断は、依然として厳しい状況にあるものの、全体として持ち直しの動きが続いている。ただし、中小企業では先行きに慎重な見方となっている。
- ・雇用情勢は、依然として厳しいものの、このところ持ち直しの動きがみられる。
- ・個人消費は、持ち直している。
- ・物価の動向を総合してみると、緩やかなデフレ状況にある。

先行きについては、当面、雇用情勢に厳しさが残るものの、企業収益の改善が続くなかで、海外経済の改善や緊急経済対策の効果などを背景に、景気の持ち直し傾向が続くことが期待される。一方、海外景気の下振れ懸念、デフレの影響など、景気を下押しするリスクが存在することに留意する必要がある。また、雇用情勢の悪化懸念が依然残っていることにも注意が必要である。

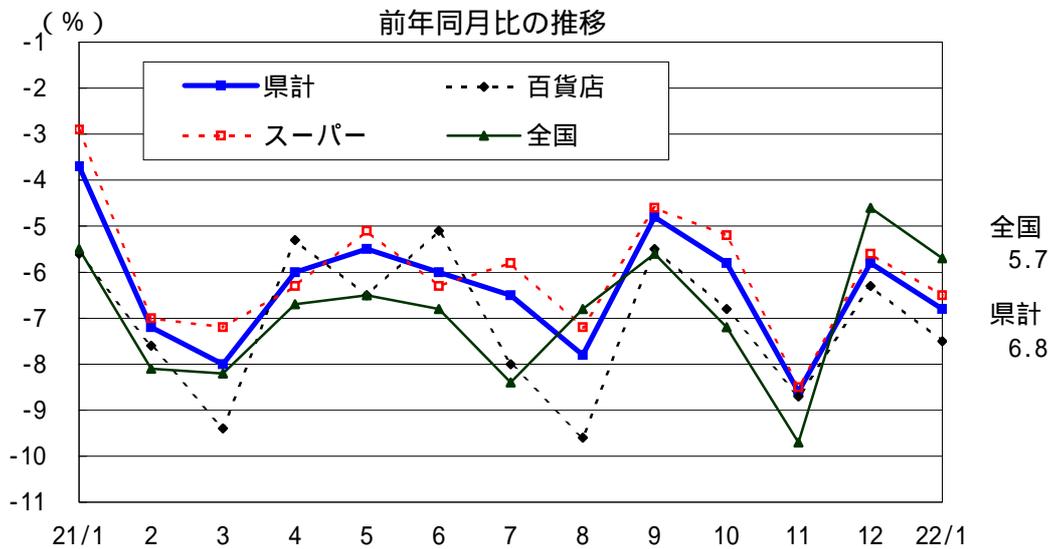
### 3 主要経済指標の動向

#### (1) 個人消費

##### 大型小売店販売額

1月の大型小売店販売額は、前年同月比6.8%減となり、18か月連続で前年水準を下回った。

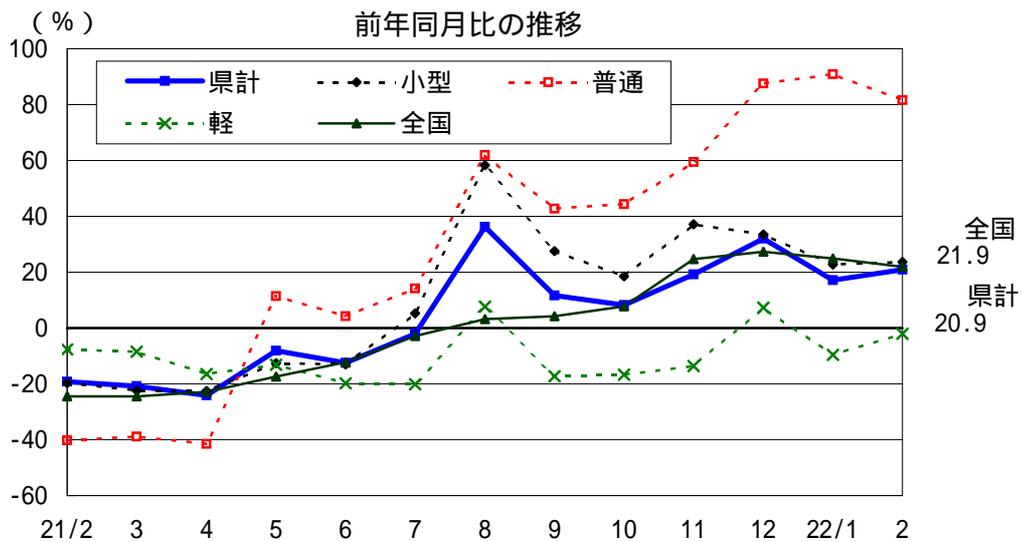
- ・業態別では、百貨店が7.5%減、スーパーが6.5%減となった。
- ・商品別では、衣料品、身の回り品等の全ての商品が、それぞれ前年水準を下回った。



##### 乗用車新車登録台数

2月の乗用車新車登録台数は、前年同月比20.9%増となり、7か月連続で前年水準を上回った。

- ・車種別では、普通乗用車が10か月連続、小型乗用車が8か月連続で、それぞれ前年水準を上回ったが、軽乗用車が2か月連続で前年水準を下回った。

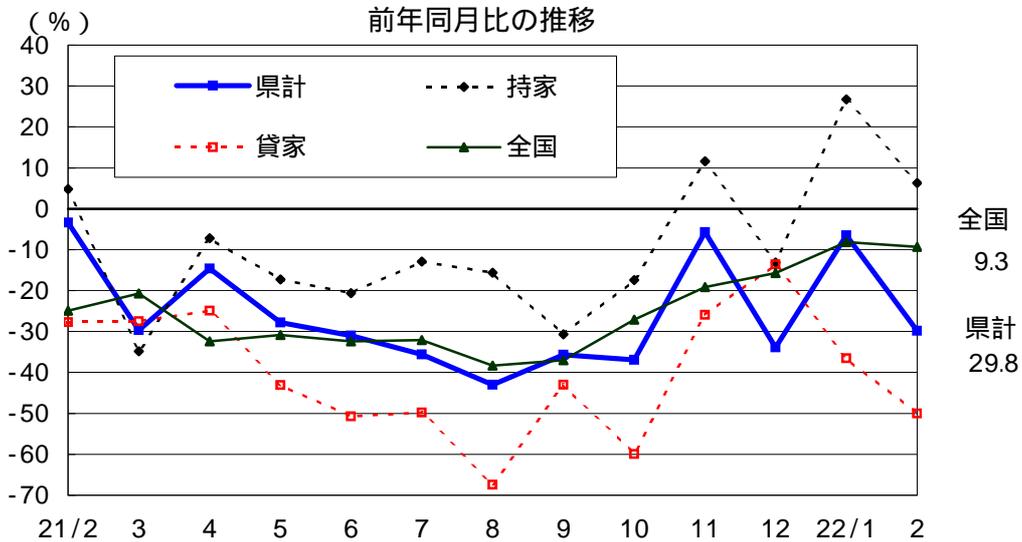


## (2) 建設投資

### 新設住宅着工戸数

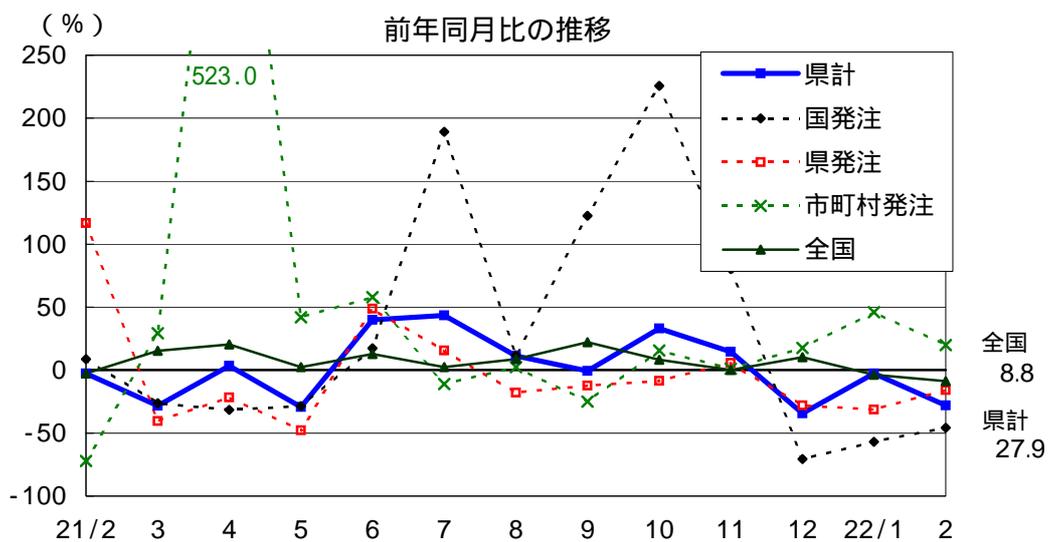
2月の新設住宅着工戸数は、前年同月比29.8%減となり、13か月連続で前年水準を下回った。

・利用関係別では、持家が2か月連続で上回ったが、貸家が前年水準を下回った。



### 公共工事請負金額

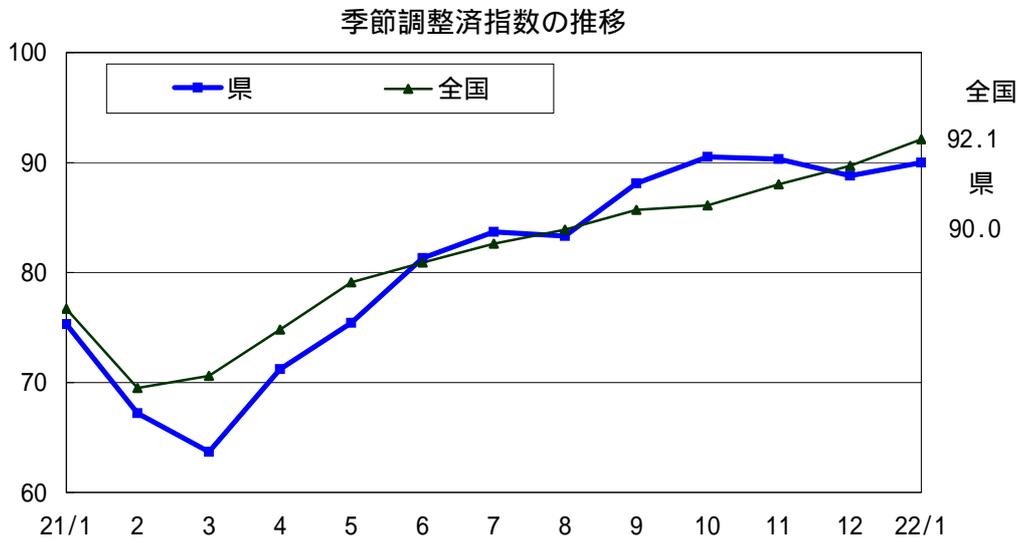
2月の公共工事請負金額は、前年同月比27.9%減となり、3か月連続で前年水準を下回った。



### (3) 生産活動

#### 鉱工業生産指数

1月の鉱工業生産指数（速報値）は、季節調整済指数が90.0（前月比1.4%増）となり、3か月ぶりに前月水準を上回った。なお、原指数は82.0（前年同月比17.8%増）と2か月連続で前年水準を上回った。



### (4) 雇用情勢

#### 有効求人倍率

2月の有効求人倍率（季節調整値）は、前月より0.04ポイント上昇し、0.39倍となった。なお、原数値の前年同月比は、0.02ポイント上昇し、0.39倍となった。

